

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。旧約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、聖書を自ら開き声に出して輪読すること、紙芝居や絵本の読み聞かせ、DVD鑑賞、ディスカッションなどを取り入れた。チャペルへの参加や教会訪問、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。 建学の精神に直結する大切な学びとなるため、毎回の授業に記入するクラスポートフォリオをはじめ、チャペルにおいてもポートフォリオ提出を必須とした。 今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.0ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は3.8ポイント、自分なりの目標達成は3.9ポイントであった。また、他の到達度自己評価も平均3.8ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上、チャペルの感想提出率は90%以上であった。以上により、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。 キリスト教学(旧約聖書)はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学（新約聖書）の中で、前期で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え る。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての旧約聖書の講義による学びの他、毎週のチャペル参加を促し、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。 自由記述には、「自分を顧みる時間となっています」との回答があり、今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れ視野を広げながら、学生の生活に結びつける視点を大切にしたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	毎回のクラスポートフォリオで学生の学びの現状をつかみ、チャペルポートフォリオの提出により、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。 本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要であるため、わかりやすい説明を心がけた。授業の質評価に関しては(1)評価基準については4.2、(2)課題については4.2、(3)「説明は理解しやすいものだった」は4.2、授業の質評価の平均値は4.2ポイントであった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.0、(5)学生の質問については4.1ポイントであったが、今後よりアクティブラーニングの手法を展開し、学生一人一人について把握する取り組みを行いたい。また、情報の利用に関しても、調べ学習を再開する予定である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。 さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	科目名称の通り、西南女学院とキリスト教との関わりに重点を置き、オムニバスで講義を行った。西南女学院の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選し、キリスト教の日本への伝来から西南女学院を創立・発展させた宣教師やクリスチャンの働きについてまで8回にわたり紐解いた。宗教主任補佐のラス・ボーグ先生は本学院の歴史的研究をされており、アメリカに現存する貴重な資料をもとに、草創期の宣教師の働きについて3回にわたる講義を担当された。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心にかかれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優，あるいは秀であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP：この科目は総合人間学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考ええる。 DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4－1に相当しており妥当と考える。 上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。 なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価では、提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.0を超えていた。大人数授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会提供が難しいが、今後は学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	大人数の対面授業ではあるが、どの学科の学生も意欲的に学ぶことができた。今後も、学生が本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	到達度自己評価において平均値が3.7～4.3であり、目標についてはおおむね達成できたと考える。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業の質評価において、すべての項目の平均値が4.0であり、目標についてはおおむね達成できたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	授業途中よりグループワークに偏移させていったことにより、受講生に理解度の濃淡がでたと思われる。次回は考慮していきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、「まあまあそう思う」から「かなりそう思う」までばらつきが出たことに鑑み、学生の理解度を慎重に見極めながら授業を進めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	おおむね問題なく授業進行できたと思料する。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	管理栄養士の必修科目として「健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系」の基礎知識の理解と把握に重点を置いた。また、健康に関する情報は近年メディアを通して日常的にかつ断片的に触れている。トピックス、ダイエット、体作りを取り上げながら、自己を含めた人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。また、授業計画では教科書等の予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませるよう促した。 出欠アンケートで、まとめと質問を設け、学生の理解度を高めた。その結果、授業で内容を理解しようという姿勢が全授業を繰り返すに従って向上した。授講の理由は必修科目であるが100%であった。しかしながら、この科目に関心があると答えた学生が14.8%と低く、健康関連科目に関心が低いことは問題と思われ、学生の各科目に対する位置付けがどのように形成されているか、考える必要がある。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は78.0±8.5点で，再試対象は0名であった。 全員が標準的レベルに達したが，理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは13名/29名（45％）であった。 目標達成できたと答えた総数は25人中27名（93％）を示した。 「達成度」は平均値が全項目で30-5.0の間(中央値)にあり、「授業の質の評価」も全て4.0（中央値）であった。 予習、復習の課題が少なく、授業以外での予習復習は14人(23名中)はしていない。 シラバスの情報を参考にしなかった者13名（27名中）と低かった。 欠席する者少なく全員が積極的に受講していたが、今後、より関心を高め参加しやすい方法を考えたい。 また、教科書以外の資料はインターネットを利用し、配布やアンケートの回収もネット上で行うことができた。 自由記述の評価での記述は特筆は少なく、検討すべき評価は見当たらなかった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性について 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めたことから、内容的には英語学科の学生にも妥当な内容であったと考える。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性について 成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高まれば、もう少し深く進める事も出来ると考える。 ③受講動機で内容に関心がある学生よりも、単位獲得目的の学生の方が多く、「受講動機」が曖昧な学生も多い中、「学習到達度の自己評価」は23名（23人中）が達成できたと考えており、観光文化学科の学生に妥当な内容と考える。討して授業に参加するよう促したい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価において、予習を全くしなかった者が14名（23名中）であった。 毎回授業の復習、興味関心をアンケートしたことで関心が高まっていれば幸いである。 シラバスを参考にしなかった者が14名（23名中）、授業計画を立てなかった者13名であった。 オリエンテーションにて十分な説明をしたせいなのかシラバスの利用者は9名と少ない。 次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。 授業過程を振り返って見たとき、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に提示し、 毎時間に、授業の内容について、数問の問題を自作させた。 若干の復習と理解のポイントを意識できたかもしれない。 授業評価から、学生の意見を取り入れ、更なる改善を試みたいと思う。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①学期の始講と最終講に、体力測定および体組成（体脂肪量等）の測定を行い、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果を体感し把握させた。 ②3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外に、また将来にわたり自ら運動処方できるよう誘導した。 ③各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターで自己の運動量を把握させ、運動の理解と意欲を喚起した。 ④1および3について毎時間記録と評価を行い、学期末に集計して実習期間全体の自己評価を行い、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の自覚と運動量の関係が理解できるように努めた。 ⑤チームスポーツでは、入学直後であることを考慮し、チームが固定的にならないよう種目が変わる毎にメンバーを替え、可能な限り多くの人とコミュニケーションが取れるようにした。チームではミーティングを試合前後に行わせ、ゲーム戦略立案と実行方法、チーム内での個人の行動や役割のポジティブなあり方を意識した行動実行を促した。また、試合後には必ず良い点や悪い点、次の試合に向けての改善点(課題)などをチームミーティング後、記録用紙にまとめ意識化し、チームで活動するための必要な要因を考えさせ、意識させた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は77点（SD8.3）であり，再試対象は1名であった。ほぼ平均点は標準的レベルに達したが，理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達した者は6名（7名中86％）と予想以上に多かった。 達成度に関する自己評価では目標達成できたと答えた総数は6人(7人中)で高値を示した。 目標別に見ると，「知識が獲得できたと思う」は6名，「事象理解の視点を得た」と思う者は6名、「課題検討力」を得たと答えた者6名、「判断力を得た」6名、「学習意欲が得られた」6名、「必要技能を得た」6名、「表現力の向上」6名、「倫理規範獲得」6名、「職業選択の参考」6名と高い自己評価を持たすことができた。 欠席する者が少なく全員が積極的に受講していた。今後、関心の数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。 意欲関心を高めるために、種目やその歴史背景なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では，知識理解の観点，思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは，学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて，ルーブリックで示すだけでなく，各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。 ③受講動機で内容に関心がある学生が42.9%で、単位獲得目的の学生が71%である。「受講動機」が曖昧な学生も多かったが、「学習到達度の自己評価」は86%が達成できたと考えており、栄養科の学生に妥当な内容であったと考える。 以上から、内容的妥当性と思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、漫画やアニメ、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどを新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、漫画やアニメ、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどを新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し「ジェンダーの視点」を理解し、当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできるかを加えた。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていたが、これまでの思い込みから脱却の難しい学生も見受けられた。新聞作成においては、グループで個性が際立ち、文章力、情報収集力など特徴が異なるため、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。基本的に、テーマに関心の高い学生が集まっており、基準には到達していた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それ実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、関心の高いテーマ（例えばLGBTなど）へは考察が深いが、より多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉える力が不十分な学生も見受けられた。ただ、グループ討議などで他者の意見を聞くことで、おおむね新たな気づきにつながっていたと思われる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を政治や経済と関連する理解へと結びつけることは、継続的な課題である。最終回で新聞作成をした。昨年度は授業評価アンケートで作成時間が足りないという意見があったが、今年度は、他のグループの作品を見る時間も確保した。他のグループに対しても感想を提出させ、より分析的に振り返りができたようだ。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
人文学入門	1	前期	必修	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生が2学科にまたがっていて、興味関心が異なる可能性が大きいため、両学科の学生が興味関心を抱くようなテーマを設定するように担当者をお願いした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	「不可」の評価を受けた受講生がいなかった。何人もの教員から、受講生がまじめに課題に取り組む姿勢について報告があった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当である。人文学は広い裾野を持つ学問であり、それを複数の教員が担当することで学生に分かりやすく伝えることができています。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生のコメントを読むと、自宅での学習時間が確保できていないことが伺えた。一方で、授業に参加することで精一杯と感じている学生も数多くいた。次年度は、無理のない範囲で学習内容が深まるような課題を担当者が出すように指示したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	受講生はこの授業に満足しているようであった。しかしさらに授業を改善するために、以下のようなことを実施したい。担当者間の事前の情報交換、気になる学生が出た場合の情報共有、授業時や宿題として出す課題の共有。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	齋藤 朗宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
数学リテラシー	1	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	これまでの年度と同様に、1年生、全学対象、かつ苦手な学生の多い数学ということであり、また、受講の動機からも、基本的には興味関心よりは単位取得を目的として受講している科目であるため、内容理解へのモチベーションを上げる必要から、テーマを身近なものにすることを特に意識した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業アンケートの結果からも到達度自己評価において平均的に3～4程度の結果になっており，ある程度達成できたとは考えている．ただ，事前に成績計算方法（毎回の課題の重視）を提示していたにもかかわらず，毎回の課題の提出率が想定よりも低く，結果的に再試験に該当する学生が全体の1/3程度出てしまった．					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は特定の学科のカリキュラムに関連すると言うよりは、全学共通の教養科目であるため位置づけは難しいが、学習到達度について概ね達成されたと評価できるため、この点についても大きな問題はないと考えている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	毎週の課題を明示していることもあってか、学習量についてはある程度確保出来ていると考えている。ただ、各自の学習を行わない理由として、何をしたいかわからないといった意見が出ており、授業並びに課題以外の部分で、どのように学習、あるいは学んだ知識を活用していくかについて、情報提供を行っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業の内容自体はある程度まとまってきたように考えているが、成績評価の部分で、成績分布が想定より低くなってしまった点が反省点である。成績評価の方法については、初回講義の段階で、個々の課題について、それぞれ何点ずつ配点するかも含めて説明していたのだが、各回の課題を提出しないことで、成績評価にどの程度悪影響となるかをもう少し具体的に、わかりやすく提示するべきだったと考えている。来年度は、たとえば1回課題未提出者の成績分布のような形で示すことで、課題提出を促していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松田 憲

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ところと人間	2	前期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	昨年度と同様に、対面形式で講義を行った。講義では、実験デモや動画視聴を多用することで、学生の受講意欲と理解度の向上を試みた。 講義配布資料を書き込み式にすることで内容理解を促した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	配布資料をclassroom上でpdfでも配布したことで，今年度は講義に出席せずにレポートだけを提出する学生が例年以上に多く，今年度の学期末試験の平均点が低かった原因と考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講生は講義内容におおむね満足していると判断できる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年度から引き続き対面形式で講義を行っているが、少なくとも出席していた受講生の反応は非常に分かりやすく、授業への反映が行いやすかった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	講義に出席していた学生からは良い評価を得られたと思う。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経済学入門	2	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	経済学の考え方を伝えるため、資料・問題作成に重点をおいた。
---	-------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績の評価と単位取得状況					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	経済学の基礎知識に重点を置いており、その理解に関して、試験等の提出物から確認を行なった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	理解度を上げるため、もう少し問題量を増やすことを考えている
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	経済学の基礎を伝えることは達成できていると考えられるが、実際の経済状況への興味を引き出す試みを考えたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は選択科目ではあるが、受講した学生の学科（英語、観光文化）にとってはあまり馴染みのない内容であり、学生たちにとってもイメージしにくい科目であることは否めない。そのため日々の学生の生活と法が随所で関係していることを説明し、具体的事例を盛り込みながら授業を行うことを心掛けた。 ②馴染みのない専門用語の学習や理論考察が必要なため、毎回配るレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を入れ、学生に解かせることで知識理解を定着させるようにした。 ③8コマ目に中間テストを実施し、学生たちの学習状況を確認するようにした。同時に学生たちに復習の必要性を認識させた。 ④近年、導入された裁判員制度についての広報映画を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。また現代的課題でもある裁判員制度について学生たちに調べさせ、その是非についての意見を書かせた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、英語学科で83.88点、観光文化学科で82.54点であり、全体的平均値は83.21点であった。80点を理想的レベルとして試験を作成したが、それぞれのクラスの平均値がそれに達したことは、知識理解の面からみても目標は達成されたといえる。追再試の対象となる学生も1人も出ることなく、全員が本学科の単位を取得することができた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1に関わるものである。総合人間科学のカリキュラムポリシーには幅広い教養を養うことを方針としており、本科目はその方針からみても内容的には妥当であるとする。 ②DP、行動目標からみても内容的妥当性 到達度自己評価において「自分なりの目標を達成した」と回答した学生の平均値は、英語学科、観光文化学科ともに平均4.1以上であった。「受講動機」の回答をみる限り、多くの学生が最初から本科目に関心があり受講したというわけではなようである。それでも授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「気になったことを調べたりした」「プリントを見直した」という回答があった。授業を通して本学科の内容に関心を持ち始めた学生がいたことは喜ばしいことであり、今後もっと高めていきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「法学」というと世間一般的に「難しいもの」ととらえられがちな科目であるが、授業評価において「説明がわかりやすかった」という回答が、英語学科で平均値4.3、観光文化学科で平均値4.1と、比較的高かった。これは毎回の講義の最後に重要なポイントと覚えるべき用語や項目をレジュメにまとめたことがかなり効果的であったと考えられる。裁判員制度の映像を用いて各グループに分かれて討論させ、協力して判決文を記述させる講義は、他と比べても学生の意欲が高く、さまざまな意見を拝見することができた。映像をつかった講義は効果的であったため、今後他の講義でも用いていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本校において「法学」の講義の担当は初めてのことであったため、授業の進め方やアクティブラーニング等の面においていろいろと試行錯誤をしてみた。結果的に成績評価や授業満足度の平均値がいずれもこちらの目標値を超えたことは、本科目のDP「知識理解」の面を達成することができたといえる。先述した模擬裁判や映像をつかった講義は好評であったため、今後も活用していきたい。 課題としては復習時間のさらなる向上が挙げられる。この点に関しては毎回配布するレジュメの「今日のまとめ」を宿題形式として自宅で記述させるといった試みを実施し、学生の方から授業に関連する予習復習を意識的に取り組めるよう促していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 中国語入門の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の87.5%を除いて、②「関心のある内容である」は87.5%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。 2. 受講人数が8名で、語学の初級としてはちょっと少ないと思います。ただし、学生一人一人に対して十分に指導が届きましたと思っています。 3. 「コミュニケーション力や表現力を高めた」は4.4の数値であることから、学生の意見や表現力などは十分に到達したことが伺えます。今後の授業についてはこのままの状態を維持し続けて、学生間の会話ができる場面をもっと増やしていくことに工夫したい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	1. A評価は5名、B評価は3名で、最終的な成績の平均値は「82.0点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。 2. （DP-1）の知識理解、（DP-5）の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。 3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週2回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することが評価すべきです。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.1点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.4点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.4点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1. 「授業の質の評価」について、值的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。 3. 「図書館やインターネット等の利用」は、授業関連な内容はあまり利用しないことが見られています。今後、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1. 中国語入門は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。 2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。 3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」68.4%、「単位数を確保する」68.4%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。 ②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。その項目から受講動機、韓国語学習経験、知りたい事を把握した。③各科に文字読み取りテスト、単語テスト、挨拶テスト、自己紹介テスト、会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④昨年度に示した改選計画では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「どのようなことをしたらいいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は78点であり、再試験対象は3名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、12名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては83.8%、機能表現は81.7%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	末永 京子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語入門	2	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①英語以外の外国語を学ぶことは、グローバル化が進む社会に対応するために、またツーリズム産業界において異文化の知識と理解を習得するために必要不可欠である。今回の授業評価アンケートの受講目的をみると、「関心のある内容」51.6%と「単位数の確保」54.3%の2項目の数値が高かった。前期のフランス語入門の授業を通して、フランス語に関心を持ってもらえるように教材を工夫した。②8コマ目に中間テストを実施し、学生の復習への意識を高め、自分の習熟度・学習状況を確認するようにした。③毎回、教科書に沿ってパワーポイントのファイルを作成し、教科書の説明をさらに深め、補った。また、授業で共有したパワーポイントのファイルはPDFに変換してクラスルームに掲載し、学生の自習に役立つようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は80.5点であり、再試対象は1名であった。ほぼ全員が標準以上のレベルに達したが、「話す・聞く」などの技能も含めての理想的レベル（90点以上）に達したとは言えない。後期もさらにフランス語を学びつづけることで、コミュニケーション能力を高めて欲しいと思う。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価：本科目は「グローバル化、情報化が進む社会において、ツーリズム産業界に役立つ外国語の習得」というディプロマポリシーの意味において、高く評価されると思う。英語以外の外国語の習得は、英米文化のみならず、世界の文化に関心を持ち理解をさらに深めようとする意欲を身に着けるために不可欠である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生からの授業の質評価の平均はおおむね高かった。授業で共有したパワーポイントのファイルのPDFをクラスルームに投稿して、学生の復習や学習に役立つようにしたことは良かったと思う。クラスルームの機能をさらに利用して「課題」をさせなかったことは反省点である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「フランス語の基本的な知識をある程度理解し、自分の言いたいことを簡単な短文で表現することができる」という標準的な達成レベルには達したのではないと思う。不十分な点はあっても「聞く・話す・読む・書く」の4つの技能の基礎は習得できたと評価する。この技能は続けてこそ身につくものであるので、前期の授業の学習を出発点にして、今後も学び続けてほしい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高木 駿

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	Microsoft Officeについても触れつつ、通常のメディア関連授業ではあまり扱わないグーグルドキュメントやスプレッドシートなどクラウドベースのアプリケーションを多用する授業構成にした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	毎回の課題に加えて、試験課題についても、指示通りこなす学生が多く、課題とした技術は身についたものと判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	非常勤のため全体を把握しておらず、発言する身分にない。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	課題の量をもう少し増やしてもよかったと考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	全体として情報量がやや少なかったと判断するので、次年度は、課題を増やすとともに、特定のレベルにある者への特別課題なども用意したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半は実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。 情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるよう、課題の内容を工夫した。 また、後半では、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。 授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。 授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなく能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、（7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	後半の能動学習を昨年度までのグループワークではなく各個人の一人プロジェクトとして行い、プレゼンテーションも個人単位で行った結果、プレゼンテーションのクオリティーが向上した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	他学科と合同で行ったものである。当初のシラバスとは異なり、教職に関連した科目であることから、教材作成に必要な知識・技能の修得を頭において授業展開している。ただし、観光コンテンツも作業手順等は共通なものであるため、このあたりも考慮して授業を行った。 特に、観光分野で利用するコンテンツの種類は多いが、そのための制作上活用するソフトウェアは限定して扱い、学生らがスムーズに操作できるように準備にかなりの時間を費やした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	どちらともいえない				どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績の差異は、学生ら提出した制作物の作成時間に比例したものとなった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	高学年では、ゼミなどでのプレゼンやポスター、パンフレット作成などもあるため、その基本的な事項の内容であったと思う。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	評価は発表(口頭、プレゼンテーション)がメインとなっていたが、Youtubeでの発信にて代替えし、レポート点で多くを評価するなど制作時間に多くを費やした。したがって、基本的な事項を講義・演習を行い、その後の拡張は学生に委ねる形式とした。学生の好奇心・積極性の違いで制作物の差が生じた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今回、オープンキャンパス用コンテンツ、ARを用いたコンテスト作品の制作、本授業の制作過程をまとめた動画制作など今後にも有用なコンテンツ制作を行った。学生の中には、実際のオープンキャンパス用のポスターや学科紹介動画に採用されるなど、学科の教員とのコミュニケーションもできた者も数名いた。このような実践的な力作が数点あり、まずまずの授業計画・進行であったと思われる。 課題としては、オンデマンド型の授業の有効活用・実施回の設定があげられる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	まずは全学科の情報を示します。大学の5学科からの受講生（79名）がいる。学科別履修者数と授業評価回答者数（）を示す。看護16名（8）、福祉：32名（9）、栄養：7名（3）、英語：13名（3）、観光文化：10名（1）。観光文化学生の授業評価は1名提出なので、全体像が反映されているとは言い切れないところがあります。昨年度から外部講師には授業1週間前には、少なくとも30分は事前学習が必要な教材を公開できるように依頼した。5名の外部講師は、動画、文字資料の形式で課題を出してくれた観光文化学科では、4、学習量の評価の（1）授業前の予習時間では、0回であり、事前学習課題を出した成果があったとは言えない。シラバスは授業計画立案時に参考にしたと、回答者一名はしている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最初に5学科の成績（％）を示す。看護：A75、B13、E6、J6。福祉：A50、B41、D3、J（放棄）2。栄養：A43、E14、J43。英語：A92、B8。観光文化：A30、B20、D10、E10、J30。放棄が30%と出たのは、最終回のポスターセッションに欠席したこととつながっている。評価は授業最後に出すコメント（レポート）（40%）、レポート外の提出物がPPTでの提出物（20%）、発表（口頭、プレゼンテーション）（20%）、その他はポスターセッション発表（20%）でした。開講四年目ですが、最初の二年間はレポート100%としており、不合格者が4割出る学科もありました。それから次第に評価項目を増やしていき、より単位を取りやすくなってきています。授業評価の6、図書館利用の三項目では観光文化学科学生は、三つのどれもで利用しなかったと出ているが、最終レポートの参考文献を見ると、図書館利用の特に（3）インターネットのHPを検索し、利用したことが実践されたことは示されている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	到達度自己評価の10項目の平均を5学科別に%でみる。看護：2.9、福祉：3.07、栄養：3.82、英語：4.74、観光文化：3.2となる。3年前期の選択科目であり、あくまで総合人間科学の科目であるところが肝要と考える。学生の質問は「北九州の技と文化」でのレポートの形式に集中する傾向があり、なぜ専門の内容に書いてはいけないのかということが、よく問われた。対象ではない、DP2（思考判断）、5（技能表現）も、学生からの提出物（コメント、レポート）の評価対象とせざるを得ないところに、DP配置についてはやや苦しいところがある。しかしながら、論理的思考や表現技能を3年になるまでにはまでは鍛えられていると期待したい時期に配置されている授業であり、カリキュラムマップ上の位置づけは妥当だと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価の5項目の平均を5学科別に%でみる。看護：3.92、福祉：3.12、栄養：2.68、英語：3.54、観光文化：3.42となる。最も低い項目は5学科中4学科で（3）説明は理解しやすいものであったです。5学科の平均値を示すと、看護：2.9、福祉：2.9、栄養：3.3、英語：4.4、観光文化：2である。これは全体的には厳しい数字であるが、観光文化が最も低い。シラバスに基づいて説明をしていくしかありませんので、より丁寧な説明で臨みたいと思います。外部講師の方には、シラバスを事前に確認していただき、基本を押さえて、ゆっくり話をさせていただくように依頼をしています。今後ともこの要領で臨みますが、今回の評価結果も取り入れたいと思います。（3）説明は理解しやすいものであったについては、当授業では、総まとめ役の専任教員と、外部講師5名の両方に関わりますので、わかりやすい説明をしたいと思います。再試対象者が一名、申し込み手続きを忘れて単位を落とした。手続きをも含めての指導も考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	成績は%で、A30、B20、D10、E10、J30でした。5学科の学生に同じ授業をしても、学科によっては評価の差が大きく出ます。ポスターセッションでは観光文化学科の学生はかなり慣れていることを示してくれました。総括的評価としては、最後から二回目までは授業に出て、最終回のポスターセッションを休んだことで、放棄（J）となった層（30%）がいることが気になります。次年度はこの層がより薄くなるように、学習成果をあげながら、課題を無理なくできるような配分を考えたいと思います。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を6団体招聘して、リアル講義の工夫をした。 特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。 初回講義の時には、この講義で何をするかということを、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。 なお、今年度も複数学科合同講義で、多人数かつ少々リアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかりと受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、とにかく楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものと考えられる。 講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。 地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。 事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。 講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、今年度は対面にて、シラバス通りに進化した。 次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	例年「単位数を確保する」という受講動機が多い科目となっており、講義開始時には講義内容に対する関心が低い学生も多いと見られる。そういった学生にも、結果的に受講してよかったと感じてもらえるように毎年内容を工夫している。今年度は、「関心のある内容である」という受講動機も比較的多かったことから、当科目を受講する意義が伝わるような内容のシラバスにできていたと考えられる。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートの到達度自己評価項目（1）（9）（10）などにおいて、概ね高い評価となっていることから、本科目の目的は達成されているものと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	レポート課題の中で、就職や人生設計に役立つ知識が得られたとのコメントが多く見られた。従って、キャリア科目として妥当な内容となっていると考えられている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	ゲスト講師の講演を取り入れるなどの工夫をすることで、多くの学生が集中して受講できていたと感じている。講義時間外の自己学習については、あまり時間を割いていない学生が多いが、本科目の位置づけを鑑みたときに、専門科目の課題が優先されているのは問題ないと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総合的にみて、当科目の目的は達成できていると感じている。来年度以降も社会情勢を踏まえながら、学生に有益な知識を提供できるよう努めたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機をみると「必修科目である」92%、「関心のある内容である」32%、「単位数を確保する」20%となっている。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したい科目になるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート提出）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は83.61点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、態度に関しては、それぞれ96%、技能表現に関する問題はそれぞれ92%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館やインターネットの利用に関しては、それぞれ16%、24%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. D P, C P, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
D P, C P, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①D P、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かった。「説明は理解しやすいものであった」、「評価基準は明らかであった」に関しては、それぞれ92%、96%で、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に関しては、それぞれ92%で「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が96%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、態度、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目に対する学生の受講動機をみると、「資格取得に必要である」と答えた学生が71.4%、「関心のある内容である」と答えた学生が47.6%であり、これは本科目に対する期待の現れであると言える。授業においては、日本各地のさまざまな観光資源の単なる説明にとどまることがないように、歴史、風土、民俗、食文化など背景を踏まえて丁寧に説明することに重点を置いている。また、各地の地形や気候環境が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについても詳しく説明するように心掛けている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DPの平均値は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目が3.9である以外は、すべて4.0以上と高い。本科目が各地の観光資源に関する知識の習得を一つの目標としていることを鑑みると、本科目の教育目標は達成できたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」の一つであり、観光学および観光ビジネスの基礎となる性格を有していることから、内容的妥当性については問題がないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、平均値が4.1～4.5と総じて高いことから学習目標は達成できたと考えている。知識の習得という学習目標が主となるため、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は4.1と他の平均値より低い結果となったが、今後は発表の機会を設けるなど、次年度に向け検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。今後の授業においてもできるだけわかりやすく丁寧な講義となるよう心掛けていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」に位置付けられており、旅行業法や旅行業約款など旅行関連の法律を取り扱っている。授業においては、旅行業法および旅行業約款の成り立ちから逐条解説をおこない、理解すべきポイントなどをわかりやすく説明することを心掛けている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価項目の平均値が3.7～4.2であること、また自由記述に「わかりやすい説明が多かった」、「とても楽しくよい授業でした」という記述があったことから、全体としてはやや達成されたと判断できる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は1年次に配当されている「専門教育科目」の「観光に関する科目」である。観光学の基礎や観光ビジネスを学ぶ基礎としての位置付けという意味では内容的妥当性があると言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、各項目の平均値が3.9～4.4と比較的高いことから学習目標はやや達成できたと考えている。ただし、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目や「口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」という項目の平均値が3.9とやや低いため、この点については今後学生に発表の機会を設けるなど授業を工夫していきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。法律科目という性格上、難しい内容になりがちであるが今後もうできるだけわかりやすく丁寧な授業となるよう心掛けていきたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	昨年度のこの授業の期末試験で得点率の低かった内容については、より長い時間を割くようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	「不可」の評価を受けた受講生が1人もいなかった。受講生のうちの約半数の学生が「秀」の評価を受けた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	この科目は、総合旅行業務取扱管理者試験の受験に向けたものである。学生は、地理については、「欧米観光文化地理A・B」「アジア観光文化地理A・B」を通して学ぶことができる。また、国内旅行実務については1年次にすでに学んでいる。そこでこの授業では、海外の航空や業界英語について指導するようにしており、妥当だと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	時差や国内旅行実務について自宅学習をした学生がいるが、これらは自宅学習としては適切な題材であるため、今後は他の学生にも勧めたい。国内旅行業務取扱管理者試験の合格者が少なくなっているため、一気に総合旅行業務取扱管理者の問題に取り組むのではなく、共通試験科目となっている旅行業法・約款などの指導に力を入れたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度は、学生が苦手とする分野について時間をかけて丁寧に解説をしたところ、これまでになく低い成績の学生が少なかった。ただし、その分、多くの問題に取り組むことができなかった。これからは、時間をかけて説明をする一方で、多くの問題に取り組めるように時間調整をしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光マーケティング論	3	前期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」、「単位数を確保する」に関しては、それぞれ60.9%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④観光を学ぶ学生たちに観光産業及び観光地域でのマーケティング事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、観光マーケティングの魅力とその理論のエッセンスを理解してもらうことに工夫した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては、95.6%、意欲関心に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 インターネットの利用に関しては、26.0%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光マーケティング論」となっており、インバウンド観光における観光マーケティングを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光マーケティング論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3	前期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は、配当学年が3年生ということもあり、専門的な内容となっている。 本講義では、ホテルの起源より始まり、ホテルマネジメントまで多面的な授業となった。就職活動にはいる学生にとってより宿泊産業の実務をイメージしやすい授業となるように心掛けた。 毎回の授業では、レジュメを配布し、レスポンスシートを提出することにより、授業ごとの疑問点などを解説・共有することを心がけた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	やや達成された		やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	本授業は通常の講義方式となり、学生の発表の機会がなかったことにより、学生参加の項目において評価が低かったものの、中央値はいずれも4.0以上であり、おおむね目標は達成できたと史料する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	レスポンスシートを提出させることにより、学生の参画意識を高めるとともに疑問点の解消に役立てるようにしている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今後は、よりインタラクティブな授業を心掛け、またレポート内容の質の向上を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	教育目標は達成されたと考えているが、今後、就職という出口に向けて学習効果を上げるべく、次年度に向け検討したいと考えている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インバウンド観光論	4	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」44.8%、「単位数を確保する」79.3%となっております。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④学生たちに各国の文化地理、旅行に対する一般消費者の考え方、日本のイメージ及び訪日旅行の事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、日本におけるインバウンド観光の意義を理解してもらうことに工夫した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は80.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、意欲関心に関しては100%、態度に関しては100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 インターネットの利用に関しては、20.6%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「インバウンド観光論」となっており、観光産業界におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」100%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」96.5%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が93.1%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「インバウンド観光論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、態度のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	マーケティングは、実際の企業経営の中心課題であるであるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されている。その学習成果に加え、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、北九州市などの自治体など団体組織におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。またマーケティング興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用すると共に、マーケティングの社会的な役割もしっかりと把握させる内容とした。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学んだ学生にマーケティングへの興味・理解をステップアップさせるために新聞・テレビなどのマスメディアやインターネット・SNSにおける済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	この授業はあくまでマーケティングという学問への興味を促進することで企業活動がいかに展開されているのかの理解を大きな目的としているので、映像情報、ビジュアル情報など多用し、興味から学習意欲の向上を促した。アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図りたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標は達成されたと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	広告宣伝は、企業経営・マーケティングの重要な要素である。そのため1年次の経営学入門の学習成果をもとに、2年次マーケティング入門、消費者行動論との継続、連動性を重視し、企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。本科目の特性として、実務科目ということもあり、社会、消費者動向変化に対応する最新性が重要であり、企業としての広告活動の実際を学ぶため、学外講師（広告会社）を招聘しての講義、思考・表現能力の向上を目指したテーマを与えた個人企画・プレゼンテーションをおこなった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	体系的なカリキュラム構成による「経営」におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性は評価できると思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	外部講師授業、課題など授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し、問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等のさらなる養成も検討していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。企業経営・組織について知識の習得を踏まえた授業計画・内容としたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディア政策論	4	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本授業は、2年次必須科目「マーケティング入門」、2年次選択科目「イベント・テーマパーク論」および「消費者行動論」、3年次選択科目「広告宣伝論」および「ブランド戦略論」などのマーケティング領域科目を学習した4年次生向け科目である。そのためそれらの学習成果を活かすテーマおよび内容とした。テーマは授業科目名「メディア政策」、とりわけSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）領域の学生自身が身近に捉えることができるものとした。内容としては、2～3の履修者、いわばZ世代のライフスタイルを多面的に紹介した文献、資料を題材にディスカッション中心で進行了。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績平均値・分布や授業評価アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図る。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性は評価でき、アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標は達成されたとと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。今後の検討課題としては、受講生が20人以下と少なく、しかも、4年次前期ということもあり、就活で欠席する学生が散見されることである。これはやむを得ないことと認識しているが、本科目の開講曜日を必須科目「卒業研究」と同曜日にするなどの工夫が必要と思われる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高野 雄史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	法は社会ルールの1つなので、実際の社会生活の場面と関連させて授業を実施しました。具体的には、契約において自己が①消費者（利用者）側になる場面、②事業者（提供者）側になる場面など、日常生活で行われていることが、法とどのように関連しており、どのような具体的なルールが存在するのか意識してもらうことを重視しました。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業後のコメントカードにたくさんの疑問や感想を積極的に記入していただき、それらの内容は授業で学習した視点で日常生活を見直したからこそ生じたものといえます。つまり、本授業を通じて、日常生活に法やルールの存在を意識することができるようになったと思います。また、レポート課題の内容や成績評価についても概ね良好でした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	【結論】 本科目の位置づけからみた内容は妥当性であると思います。 【理由】 法は社会生活を送るうえで欠かせないものです。つまり、すべての人が社会のプレイヤーとして、商品やサービスの利用者になり、同時にその提供者にもなり得ます。その意味で、社会人としての教養としての法知識・法的思考を修得すること、および様々な法規範が存在する観光業で活躍する素養を修得できるものと考えているからです。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	【授業の進め方について】 昨年度と同様に順調に授業運営をすることができました。また、Googleclassroomの課題機能を利用して、学生から授業ごとの感想や質問を受けることができたので、授業準備に大きく役立てることができました。特に、授業終了時に用紙を強制的に回収する必要性がないことから、提出課題の記載内容がより充実したことは評価できます。別途回収した授業の感想でも概ね好評だったので今後も継続したいと思います。また、新しい出席システムが導入されたことにより、よりスムーズに出欠確認をとることができました。 【授業以外の学習について】 毎年度「課題がなかった」「分からなかった」とのご意見をいただきます。授業のガイダンスでお話しました通り、学生の皆様が学校生活、アルバイトなど健全な社会生活を送っていただくこと自体が授業以外の学習ですので、実は授業以外の学習といえます。ですので、「取り組んでいない」というわけではありません。来年度もガイダンス資料にも明記して誤解のないようにしたいと思います。 【学生の意見について】 「1限からでキツかったものの、先生のお話や出される課題の解答を紹介、少しの休憩をしたりなど、講義の他にも楽しめたり気持ちを切り替えられる要素があつてすごく良かったし講義内容も分かりやすく理解が深まった。ビジネスと法の先生はずっと高野先生でいいと思う。」との有り難いコメントをいただき、大変恐縮です。これからのより良い授業を目指して精進いたします。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の皆さんには「法と社会生活の関係性」をテーマに学習いただき、授業目標を一定程度達成することができたと思います。授業後に何度か学生さんとお話をする機会があり、率直な感想をいただけたので大変参考になりました。貴学の学生は所属学部学科の関係で法を学ぶ機会は少ないと思いますが、法を学ぶ楽しさ、社会のルールに興味関心を持つことの重要性をお伝えできたと思います。また、積極的に授業課題に取り組んでいただき、西南女学院の学生の勉強への真摯さを感じ、とても嬉しく思います。もちろん、授業への自己反省・ご指摘を踏まえて、教材内容の更新・改善をしてまいります（例：事例や具体例のアップデートなど）。 毎授業ごとのコメントフォーム（授業課題）にたくさん記入していただき、ありがとうございました。わずかな時間でしたが楽しい授業の時間を一緒に過ごし、水1時限の朝早い時間からご受講をくださった学生の皆様に感謝を申し上げるとともに、これからのご活躍をご祈念いたします。あわせて、classroomなど授業環境を整えてくださった大学職員様にも感謝申し上げます。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本経済入門	1	前期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年前期に配当されている科目である。受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が35.3%と昨年に比べて低い。授業においては経済用語間の関係の理解を中心に、わかりやすい説明を心掛けている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DP項目の平均値が3.7～4.1と比較的高い評価であること、また、学生の自由記述においても「とてもわかりやすい授業でした」などとコメントがあることを根拠として挙げるができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年次前期に配当されていることから、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：経済学の基礎を学ぶ上で「知識・思考・関心」といったDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては平均値が4.0～4.4と高いことから学習目標は十分に達成できたと考えている。今後は学生に発表の機会を設け、また学生が意見を述べる機会をより多く増やすなど検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	難しい内容は何度も繰り返し説明することで学生に理解していただくように授業を進めている。今後は学生が意見を述べる機会をより多く増やしていきながら、また難しい内容をよりわかりやすく説明するように、次年度に向け検討したいと考えている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「専門教育科目」の「経済に関する科目」の一つである本科目は、1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を取り扱うことが予定されている。受講動機においても「関心のある内容である」という項目が62.5%と相対的に高い比率を示していることから授業への期待を窺うことができる。各回の授業においては英語学科との合同授業であるため、わかりやすく丁寧なレジュメを作成・配付することで国際経済の基本的な知識を説明した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DP1～DP3の項目の平均値は4.0～4.5をマークしているため、全体としては達成されたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を扱う科目であり、またDP全体の平均値は4.0以上をマークしていることから、内容的妥当性については特に問題がないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価については、「口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」という項目の平均値が4.2と比較的低いものの、その他の項目の平均値は4.4～4.6であるため、授業の進め方については問題がないと思われる。ただし、今後は学生に対してこのような機会を設けるなどの工夫を検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	全体として授業目的は達成されたが、今後は、口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、またそれに答える機会を設けていきたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は2年次配当であり、1年次後期にて「フィールドワーク入門」の授業の発展としてフィールドワークを実践することにより、卒業論文を含めた、3年次・4年次において行う各種調査研究について基礎的な知識を習得するものである。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価において、平均値が4.1～4.3となり、おおむね達成されていると史料する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機については「関心のある内容である」「単位を確保する」がともに60.0%であった。また、「友人が履修している」についても26.7%となっており、グループワークについての興味が受講動機となっている可能性を示唆している。1年次後期よりの連続性のある授業であり、カリキュラムマップについては妥当であると評価できる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	前半は「フィールドワーク入門」の振り返り並びに基礎的座学の復習を行い、中盤以降、フィールドワークの実地を行った。授業の質評価では、全項目中央値が5.0となっており、学生の資質向上に寄与できた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	フィールドワークのグループ分けについて、学生主体としたため、グループにより濃淡が出来た。次年度以降は配慮していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
タウンマネジメント論	3	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機については「関心のある内容である」50.0%「単位数を確保する」75.0%であった。 学生にとって、街づくりというあらたな領域のため、具体例をあげながら説明し、後半はグループワークにより、より理解を深める内容とした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価において中央値が4.0～5.0であり、目標についてはおおむね達成できたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本授業は3年次配当である。 受講動機において「関心のある内容である」と「単位数を確保する」が拮抗している状況であるが、DPにおいては配当年次相当のものを求めている、カリキュラムマップとあわせて、内容については妥当であると思料する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業後半においてはグループワークとなり、各演習室に分かれての授業となった。進捗把握に務めたものの、グループ内での取り組みに温度差がでていたことが課題として残った。次年度よりは改善を図ってきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	授業評価としては一定の達成度があったものの、学生に取り組み意欲の差異が発生したことが反省材料としてあげられる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	必修	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	アンケート回答者16名。受講動機を高い順に示すと、①必修科目である（100%）、③関心のある内容であると④単位数を確保するが同数（18.8%）、⑥友人が履修している（63%）である。③の積極的受講動機は心強い。教室内の学習活動に加えて、図書館の多読（英語）図書を使っての多読、E-learning のCHleruを使っての学習活動がある。予習前提の語学の授業であり、大半の学生が実際に取り組んでいた。授業はA,Bクラスで別々だが、授業評価は合同なので、クラス別のことは授業評価からは把握できない。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	クラス別の採点対象者の成績を%で示すと Aクラスは、A20、B40、C2、D7、E7である。Bクラスは、A25、B15、C15、D30、E10、J5である。回答者16名の授業評価アンケートでは、到達度自己評価では、到達度自己評価の「（1）自分なりの目標を達成した」から「（10）職業選択の参考になった」までの10項目の平均値は3.9。到達度自己評価の「（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.2である。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①1年生の前期の英語の必修科目である。英語が好きではない学生がいる中で、基本的英語能力を高めるためにも、入学最初の学期に当科目を置くことは、意味がある。入学時のオリエンテーション期間に行っている英語のプレースメントテストの結果を受けて、習熟度別の授業が展開できた学年である。英語については高校の教育内容との高大接続的な意味合いもあり、基礎的英語力の足並みをそろえるためにも、この時期にこの科目を置くことはカリキュラムマップ上妥当である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方とその向上について ①学生の自己評価の「学生の意見」には、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「授業内で十分だった」（2名）、「毎週課題が出るので、その課題を行い授業に出るととても勉強になるので」（1名）などが学生の意見である。確かに入学直後に大学の授業に慣れる必要がある時期には、負担の大きな授業だったかもしれない。教室内の学習活動に加えて、英語の多読活動、E-learningもあるので多忙だったのだろう。 ②授業アンケートの3. 授業の質評価では、5項目の平均は、4.18である。「（2）期間内に行うべき学習の範囲は課題は明らかであった最高で4.4だった。また、「（3）説明は理解しやすいものであった」が、平均値の最低で3.9であった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括的には、やや達成されたと考える。但し、昨年度までの入学者のクラス編成（習熟度別）が、本年度からなくなったので、クラス内の英語力が非常に多様で、幅が広がった。上位層、下位層の両方には不平が出るものと思っていたが、自由記述には、それは見えなかった。但し、一人だけ、「次の問題に早く進むので考える時間がなかった」とあった。このような声に対応するためにも、学生の姿を学年最初に把握することを考えたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級英文講読	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	選択科目であるこの授業において受講動機において特筆すべきことは、「単位数を確保する」を選択した学生が58.6%いたものの、「関心のある内容である」が75.9%もいたことである。観光文化学科の学生の中でも英語に関心がある学生が履修選択をしたことが伺えた。授業の実施にあたり、英語専攻の学生とは違い、いろいろなレベルの学生がいることを想定していたので、基礎的な部分も丁寧に説明しながら、さらに上を目指す学生にも学びのポイントが多い授業としたことである。基礎固めと、試験前の一夜漬けを避けるために、中間テストを実施した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	定期試験の結果は、A18%, B37%, C23% D16%, J6%であった。正規分布を目指していたので、知識理解(DP1)を純粹に評価する中間テストと期末テストの結果が客観的に反映される形となった。「学習到達度の評価」は(1)4.1(2)4.3(3)4.2(4)4.1(5)4.0(6)4.1(7)4.1(8)4.1(9)3.8(10)3.7であった。評価が低かった職業に関する(9)(10)の項目は、評価を上げるためには、観光業用の英語などSPEの要素を入れたら良かったのかもしれないが、観光文化学科に「エアライン英語」の授業などがあるので、この授業ではひたすら英語の読解力に注力した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性：英文読解という専門分野に特化した内容を扱っており、学生の動機も明確であるので、妥当である。②DP、行動目標からみての内容的妥当性：内容的に妥当である。③問題なし
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価の結果は、(1)4.4(2)4.4(3)4.2(4)4.4(5)4.3であった。やや評価が落ちた(3)は「説明は理解しやすいものであった」であった。成績がAとCで差が出たように、基礎的な説明もカバーしながら授業を行ったつもりではあったが、英語が苦手な学生には説明不足の部分もあったということで反省したい。しかしながら、自由記述には肯定的な意見が多かった。例（一部）「英文をどのようにしたら読みやすくできるのかコツを掴めたと思います」「単語力が上がった、今まで以上に文章を読み取れるようになった」「取り上げられている内容がとても面白かったので興味を持つようになった」「英文を読むスピードが上がった」など。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の成績と教員の見通しを総合的に判断して「やや達成」と評価する。理由は、かなり基礎的なレベルを想定したつもりであったが、授業の内容で精一杯の学生がいたからである。授業の課題以外に学習に取り組んだ学生は18名であり、全く取り組んでいない学生は11人であった。取り組んだ学生は単語調べなどの予習やテスト勉強などの復習を学習内容としてあげていた。来年度担当者になるかどうかは不明であるが、そうした現状を踏まえ、もしまた担当するとしたら準備を行いたいと思う。（もしかしたらテキストのレベルを下げるかもしれない）

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ基礎	2	前期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業評価アンケート回答者18名。これは受講者数のおよそ半数である。2年前期の英語の必修科目である。次の三つのプロセスを示した。1. 授業でE-LearningのCHleruのダイアログとモノローグをE-Learningで行う。2.それについてのプリントを配布して、それを次回授業までに調べておく。3. 次回授業でプリントの音読と課題を確認をする。学生は、1と3を授業で、2を授業前にするという規則的なパターンで学習習慣を身につけるようにさせた。 2.で、プリントをしておくということで、学習準備ができていたことがどういうことであるかを確認した。授業評価アンケート（回答者17名）では、4. 学習量の評価では、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、①0回と②1回が各5名で最多である。事前の学習が0が5名という事実には対策が必要となる。しかしながら、自由記述として、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として11名の記述があるが、その中には授業課題をしていた者もいる。自由記述の4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習には7名が答えており、授業の予復習に当たる学習をしていたことが確認できる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	4.学生の目標達成状況について 評価の根拠として成績を％で示す。本試験では、A（18）、B（37）、C(21)、D(21)、E（1）となっている。AとBで55％である。学習到達度の自己評価は10項目の平均は4.25。⑨職業倫理や行動規範について学ぶことができたが最低で4.1。全体を通して教育目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機を%で示すと、①必修科目である（94.4）、以下は高い順に追うと、③関心のある内容である（22.2）、④単位数を確保する（16.7）、⑤GPAを上げる（5.6）と続く。、意欲的な学生もいたことが分かる。授業評価の、「4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組みましたか」に対して、していないが11名、取り組んだが7名である。まだまだ、授業だけの取組をした学生の方が多い。選択科目にその関連の英語科目があり、それを学生も意識していることがうかがえる。以上のことからこの英語の必修科目を2年前期に設けることの妥当性があると考え。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学習の質評価の5項目の平均値は4.3。担当教員への意見はない。A,Bクラスが別授業であった2年前までの自由記述では、A、Bクラスの授業のやり方の違いがないようにとの声があったが、それはなくなった。担当者が一学年を合同クラスで行う方式になって2年目となる。文法用語の説明は必要のない限り、しないようにした。英語のコンタクト時間を確保するために、相応しいE-learningソフトがあり、PCが一人一台使える環境で非常に恵まれた環境であるが、どうしても怠ける学生が出てくるので、こまめに机間巡視をするようにしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	次の3つをシラバスでは達成目標として示した。 1、3については客観的に根拠を担保できるが、2については評価が難しいが、最終試験の二種類のTOEIC型試験である程度は確認できた。3について、最後の課題として音読の提出物により確認した。これらのことから包括的には目標はやや達成されたとした。 達成すべき行動目標 1 CH1eru の1,300（学習）マイルを達成できる。これが評価割合「レポート外の提出物」として、20%になります。部分点はありません。 2 TOEIC の400 点レベルのリスニングができる。 3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができる。 一つの学年を丸ごと一クラスで指導するようになった。そこでは学生間の習熟度の差が大きく感じられる。しかしながら、PC完備の情報演習室で、学生がE-Learningで個別学習ソフトを使い、教員が必要に応じて個別指導も行うことで、何とかクラス全体の底上げを行える術を検討したい。Google Classroomも活用して、こまめに学生に質問をして、段階別に文法力、語彙力を高める使い方ができるので、それを活用したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	十時 康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門TOEIC演習	3	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	久しぶりの担当科目でありましたが、以前は学生の英語力にかなりばらつきがある印象でした。少人数であったので、学生との相互交流（質疑応答）を頻繁にして、学生の理解度に合わせて進めることを意識しました。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	やはり、学生の英語力にかなりバラツキがありました。「入門」としている以上、初級者に合わせた内容となりますので、英語の基礎ができていない学生にはやや物足りなかったようです。学生の学習到達度の自己評価をみると③～⑤にまんべんなく分布していますので、そのように判断いたしました。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容的妥当性は一定程度あると判断できますが、学生の英語力のばらつきについては何か対処が必要だと感じます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価についてはおおむねよい評価を得られましたので安堵しています。受講生の英語力のばらつきについては、もし来年度も同じような状況であれば、授業内を複線化するなどの工夫が必要かもしれません。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「TOEIC対策」として舵を切ると、英語の基礎がおさえられていない学生は苦勞しますし、そこに合わせると中級以上の力がある学生は退屈です。授業の中で、タスクを複数用意しておいて各自でそれをこなしていくのを教員がサポートするというような仕組みが有効かと思われます。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム英語	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・授業テキストに基づいた、事前、事後学習の徹底。 ・航空会社と旅行会社は、同じ英語表現を使用することが多いことからどちらでも利用できる単語を使い、兎に角、簡潔な英文を作る。 ・単語の読みは、発音の練習の徹底。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された	やや達成された			どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・授業の質評価においては、各項目、7割から8割の受講生が高い評価してくれたこと。 ・成績においては、5割の受講生が優秀な成績を残してくれたこと。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・旅行会社、航空会社においては、英語は必須であり、且つ表現能力を求められる。特に、「到達度自己評価」において、事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」の項目においては、78%以上の受講生が良かったという自己評価をしており、社会の必要事項を英語で表現する機会を作ること重要と史料する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・基礎的な社会事象を日本語で表現できても、英語表現が出来なければ国際社会ではかなり厳しい立場におかれてしまいます。この点を、前年度の反省から語彙力の強化、社会事象（国・国籍の表現、通貨、数字、各種単位の表現等）の理解に務めた。 ・英語が苦手だという受講生も、これをきっかけに関心、興味ができたのではと史料する。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・ツーリズム英語の場合、基本の語学能力があればそう難しくはないと思うが、航空会社、旅行会社においては、特殊な英語表現があることから、これを状況に応じて使い分ける必要があることを理解することに注力した。また、前年度に課題とした旅行中の英語表現の中でも、特に、通貨の表し方、国名の表記と発音、重さの表現など、社会事象を重点項目として授業を行ったことが受講生に評価されたと思っており、受講生も、また、継続して社会事象の英語表現に磨きをかけてくれるよう希望します。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 1年生を対象とする授業である。ほぼ全員が初めての中国語の学習なので、中国語の特徴や学習方法を十分に説明する必要がある。まず中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して中国語の話し方、習慣の表現等の特徴を理解し、応用能力を身に付けてもらう授業である。更に中国語に対する理解を深めるために中国の歴史、文化、事情等を適宜に紹介する。 2. 学習者の学習への意欲を高め、学習状況を確認するためにユニットごとに確認テストを行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は93点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したのである。 学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい新た得ることができる観点での自己評価にかなりそうだと思う」「新しい知識を身に付けたと考えられる」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては、4、0～5、0とやや高かったので、中国語コミュニケーション力や表現力に高かった技能表現に達している。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムの位置付けからみての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であるが、内容的に妥当であるとする。更に、異文化、多言語の領域でもあるが、内容的には妥当であったとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、「テスト、レポート提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見を纏め、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」等については4, 0~4, 5とやや高かったと示されていた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目の位置付けから、基礎的知識を概ね身に付けているが、次の初級中国語会話の授業を引き続いて指導する予定である。学生に中国語の総合能力を身に付けてもらっている。次年度により綿密に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実用中国語会話	1	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 実用中国語会話の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の83.3%を除いて、②「資格取得に必要である」は16.7%で、③「関心のある内容である」は83.3%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。 2. 受講人数が6名で、語学の初級としてはちょっと少ないと思いますが、学生一人一人に対して十分に指導が届きましたと思っています。 3. 「コミュニケーション力や表現力を高めた」は4.5の数値で、学生の意見や表現力が十分に到達したことが伺えます。今後の授業において、このままの状態を維持し続けて、学生間の会話できる場面を増やしていくことに工夫したい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	1. A評価は4名、B評価は2名で、最終的な成績の平均値は「82.6点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。 2. （DP-1）の知識理解をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。 3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週2回復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。 4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することは評価するべきです。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.5点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.7点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.5点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。 3. 「図書館やインターネット等の利用」は、授業関連な内容はあまり利用しないことが見られます。今後、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1. 実用中国語会話は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。 2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。 3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎中国語	2	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	1. 2年生を対象とする授業である。ほぼ全員が中国語学習をする経験があるので、上級中国語の能力の養成に重点を置いている。具体的にはややハイレベル中国語の会話や文法を学習した上に理解能力、表現能力の総合能力を身に付けてもらうことを目指した授業である。 2. 学習者の学習への知識理解や学習意欲を高めるため、中国語でプレゼンテーションや日記等を作成してもらう練習を実施していた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルは半数以上だった。学習による授業評価においては5，0と高かったが、教科書がやや難しいことが勉強になり検定試験に役立つと学生から反映されていた。次年度にコミュニケーション力を促すために中国語のドラマ等を入れる工夫をしたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であるが、内容的に妥当であるとする。更に異文化コミュニケーション等の領域でも内容的に妥当であったとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の到達度評価においては「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり新たに得ることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」等は5, 0と高かった。次年度に予習復習を徹底的にするように促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目に当たる科目の位置付けから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、表現力、総合応用力の面では課題を残した。復習課題の提示等においても改善を図りたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級中国語	2	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	専門科目に当たる中級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の習得を深める科目である。中級中国語能力の養成を重点に置かれている。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習する上に基礎的な知識理解や技能表現等の総合能力の育成を目指した科目である。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は90点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルは13名となった。学習による授業評価においては、「説明は理解やすいものであった」等の項目は5，0と高かった。次年度にしっかりコミュニケーション練習時間と復習時間を加えていきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であり、後期の上級中国語に繋がっている科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるため、内容的妥当性には問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の到達度自己評価や授業質評価においては、ほぼすべての項目は5, 0と高かったのである。次年度に学生に事前に予習復習を徹底的にするよう促したい。また、しっかり基礎的な知識を身に付けてもらうために、中国語で日記等の課題の作成を継続的に実施していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	専門教育科目にあたる本科目の位置付から、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、表現力、総合的応用力では、課題を残した。しっかり復習時間、課題の提示等の改善を図りたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用中国語	3	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	応用中国語の授業の受講生は3年生であり、少なくとも中国語を1年以上を学習した経歴を有する学習者である。授業では基本的に中国語会話ややや難しい文法の学習を行った。本授業を通して、実用应用能力を身に付けてもらうためである。学習者の学習への意欲を向上するために。毎回中国語で会話練習や小テストを実施して、知識の達成度を確認してきた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は92点であり、再試対象は0名であった。全員11名が理想的レベルに達したのである。学生による授業評価においては、全てが5，0と高かった。中国語コミュニケーション能力と表現力に高かった知識理解に達している。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であるが、内容的に妥当であるとする。更に異文化、多言語の領域でもあるが、内容的には妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業質評価においては、全ての項目においては、5, 0と高く示されていた。但し、次年度は指導方法や教科書などの事をじっくり検討して改善していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目の位置づけから、基礎的な知識を概ね身に付けているが、学生に中国語の総合的能力を向上するために、復習予習をより綿密に促すよう工夫していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	4	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	専門教育科目に当たる中国語通訳ガイド演習は観光文化学科における教育骨格となる分野の習得を深める科目である。中国語通訳ガイド演習の力の育成に重点を置くことである。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳通訳技能の養成を目指した科目である。 学生の中国語の水準はあまり異なっているため、授業の進め具合はかなり難しかった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された		達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理解的なレベル（概ね90点以上として試験を作成）に達したものは4名であった。学生による授業評価においては、それぞれの項目は5，0と高かった。次年度の教科書の難易度を選定していきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であるが、観光文化学科の領域を繋ぐ要の位置にあり、中国語通訳案内士等の資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野への理解に応えるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから内容的に妥当であると考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においてはすべての項目の平均が5, 0と高かった。次年度練習量と課題の技術能力を向上させることを改善したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は専門教育科目の位置付けから、基礎的な中国語知識の形成については概ね達成できたが、表現技能の面では課題を残し、復習時間が少なかったため、次年度により綿密改善を図りたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア文化交流研修 B	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」100%、「単位数を確保する」20%。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が目標のレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、意欲関心に関しては100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、20%、インターネットの利用に関しては、80%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア文化交流研修B」であるが、「海外留学・仕事・国際交流」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かった。2025年度のアジア文化交流研修B（上海研修）に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「海外留学・仕事・国際交流」をつなぐ要の位置にある「アジア文化交流研修B」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	世界国々と日本の文化について、毎回1つのトピックに縛って比較をしながら授業を進めてきた。特に中国と日本の文化について長い文化交流の歴史があったため、多様な文化が共生共存できる社会を構築するには、どのようなことが必要であるのか。学習者に何ができるのか意識をしてもらった授業である。毎回のテーマから何を学んできたのかという課題の一つとして挙げてもらった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として試験を作成）に達したものは20名となった。 目標別に見ると、意識関心は85%、態度に関する問題は80%であった。与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また、異文化に対する意識に対して十分に示している。 学生による授業評価においては知識理解の観点、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が意識で何が問われているか自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、毎回の授業に示す「狙い」の表現を工夫するようにしたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であるが、異文化コミュニケーションを繋ぐ要の位置にあり、選択科目である。内容的には妥当であるとする。 成績評価から知識理解に関する達成度が比較的に高かった。その領域の成績から見て内容的には妥当であったと考える。纏め、以上から、内容的妥当性には問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4, 0とやや低かった、事例を取り上げて検討をする機会を作ったが、じっくり考えてもらう時間は十分にとることができなかった。次年度に向けては、知識理解の目標を具体的に示すうえで、授業に参加するよう促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目としての本科目の位置付から、基礎的な知識や異文化コミュニケーション能力については概ねに達成できたが、知識理解の面では課題を残した。この点は次年度じっくり検討を加えていきたい。復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「映画で学ぶ世界遺産」で主要な観光地や地理について教授したため、この授業では、文化を中心に上げることとした。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	「不可」となった学生が1名しかいなかった。この学生は非常にまじめな学生であったが、問題文を読み間違えて、解答すべき問題を解かずに提出したということの後で本人から直接、聞いた。このような事情であり、実質的に「不可」はいなかった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当であった。関連科目である「アジア観光文化地理Ⅰ・Ⅱ」「欧米観光文化地理Ⅱ」「映画で学ぶ世界遺産」とのすみ分けができていて、学生は幅広く関連分野を学習することができた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	特別な配慮が必要な学生がいたが、彼女の事情をよく知っている友人に彼女のサポートをお願いした。その結果、両方の学生がこれまで以上に授業に真剣に取り組むことになり、学習効果が上がった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生によるプレゼンテーションを取り入れたところ、非常に評判が良かった。学生同士の刺激になり、自主的な学習を促すという点でも良かった。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「関心のある内容である」68.0%、「単位数を確保する」64.0%となっております。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては96%、技能表現に関する問題は92%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 インターネットの利用に関しては、32%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみての内容的妥当性 成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理Ⅰ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かった。「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」96%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」96%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅰ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス演習	2	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、2年次前期の必修授業として配当されている。受講動機をみると、「必修科目である」と答えた学生が83.9%と高いが、一方で「関心のある内容である」と答えた学生は29.0%と低いことから、履修前に授業科目の説明をおこなう機会を設けることが必要と考える。科目名にあるように本科目は学生がどのような業界に就職するにしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶことから、身近な例を挙げながら丁寧に毎回の授業をおこなっている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度自己評価における「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」という項目の平均値が4.5と最も高く、また、その他の項目の平均値もすべて4.1以上となっていることから、教育目標は達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、ビジネス上必要となる基礎知識を習得する貴重な機会を提供している。1年次後期におこなわれる「ツーリズム演習」を観光系の演習科目として位置づけるならば、2年次前期におこなわれる本科目は、ビジネス系の演習科目として捉えることができるため、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は履修する学生がどのような業界に就職するとしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ貴重な機会となることから、できるだけ具体的事例を踏まえながらわかりやすく丁寧に毎回の授業をおこなっている。授業の質評価において、平均値がすべて4.2以上と高い評価を得ていることは、この裏付けと捉えることができるだろう。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	上記DPおよび授業の質評価を総合的に勘案して、教育目標は達成されたと考えている。今後はこれまであまり実施していなかった授業に関するコメントカードなどを適時配付・回収しながら、より質の高い授業をおこなう予定である。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	受講生がフィールドワークに期待していることが事前の面談で分かっていたため、その準備学習と実地研修を着実に行えるように心掛けた。受講生たちはフィールドワークの現地において、学んだことはもちろんのこと、臨機応変に状況に対応しており、指導のかがあったと実感した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	強く感じたことは、学生の授業時の積極性で、常に自ら発言し、行動するという姿勢が全員に見られた。フィールドワークで得た情報をもとに作成されたレポートの完成度も高く、いかにまじめにフィールドワークに取り組み、それを的確に文字化しているかということが伝わった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当だと思われる。授業では、講義、演習を組み合わせ、学生の理解とやる気の向上に努め、さらに集大成となるフィールドワークによって学習成果を 確実なものとした。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単 にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	課題については学外で取り組むような内容としていたが、授業時に私が指導しながら学生が課題に取り組むということも取り入れて、学生の課題解決能力 の向上に努めたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	受講生各自の個性が際立っており、それを活かすことを「専門演習Ⅱ」の課題としたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「必修科目である」100%「単位数を確保する」と「友人が履修している」それぞれ37.5%となっている。履修者が「専門演習Ⅰ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は96.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、態度に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、13%、学術データベースの検索・利用に関しては、13%、インターネットの利用に関しては、50%で、図書館と学術データベースの検索及びインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門演習Ⅰ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、各項目については、評価は良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章等、何らかの形で学生の質問を受付、それに答える機会が作られていた」の評価は100%で良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	「専門演習Ⅱ」、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	対面における文献輪読を中心にマーケティング、広告宣伝、メディアの理解を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。文献輪読に関しては本年度も「デジタルマーケティング」をテーマに、各テーマごとと内容の発表と関連事例を発表させた。また、社会経済状況の把握のために新聞掲載記事（経営・マーケティング領域を中心）の学生地震による進行発表・解説・ディスカッションも行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値であるため内容的妥当性はあると評価する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	就職活動指導とマーケティング理論と実践活動の時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったが、実践活動について社会人との調整交渉に予定外の時間を費やさざるを得ないケースがあった。社会人との議論調整によりこの課題を解決したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	グループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、就職活動にも資するようなディスカッションを取り入れ、さらなるコミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、3年前期に必修科目として配当されている。科目名にあるように本科目は学生のこれまでの学習の関連性を踏まえながら、専門分野に関する深い知識、思考力を身に付けられるように丁寧に授業をおこなっている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」という項目の平均値が3.7、「職業選択の参考になった」および「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」という項目がともに4.0の評価となっている以外は、すべて4.2以上の評価となっているため、教育目標は全体としては達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、4年次に「卒業論文」を執筆するために必要となる基礎知識を習得し、またその素養を高める貴重な機会を提供しているため内容的には妥当であると考えます。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考えます。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考えます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は1～2年次の演習・研究科目と卒業論文の執筆との間に位置づけられる。今後もさらなる授業の質向上に向けて内容の検討をしたいと考えています。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業内容を微修正したことで、授業の質評価の平均値がすべて4.8になったことは一定の成果と考えることができる。今後も授業の質向上に向けて内容の検討をしたいと考えています。